

第550号



喬木村公民館：長野県下伊那郡喬木村6664



発行日 2015年 1月16日
 発行責任者 喬木村公民館 長 穂
 編集責任者 原 美 穂
 編集責任者 公民館 編集部 長 志
 印刷 仲 田 久 志
 印刷 龍共印刷株式会社

平成二十七年 公民館新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。
 村民の皆様には日頃より公民館で行うサークルや講座や行事に積極的にご参加いただき誠にありがとうございます。
 公民館活動が誰でも気楽に参加していただき、楽しく活動できる場として、生涯学習の拠点となるよう今年も頑張りたいと思いますので宜しくお願い致します。
 昨年末の衆議院解散総選挙には驚かされましたが、自民党の勝利は円安や株高に支えられたアベノミクスがいろいろな問題を抱えながらも、なんとか経済回復してほしいという国民の期待が込められているのだと思います。
 安倍さんには長期政権にあぐらをかかないで国民のために頑張してほしいと思います。

王滝の学校にお世話になったことのある私にとって、観光に生きる王滝村がスキー場の閉鎖や御嶽信仰の信者の来村の減少で今後どうなっていくのか心配でもありません。
 今年は大きな事故や災害のない、平穏な日々が続いてほしいと思います。
 今年末の衆議院解散総選挙には驚かされましたが、自民党の勝利は円安や株高に支えられたアベノミクスがいろいろな問題を抱えながらも、なんとか経済回復してほしいという国民の期待が込められているのだと思います。
 安倍さんには長期政権にあぐらをかかないで国民のために頑張してほしいと思います。

文化祭出展
 見ていただきたいだけじゃありませんか？
 たかぎガーデニングクラブ
 小澤 敦子
 クラブの活動が産声を挙げてから、満一歳の誕生日11月がやってきました。と同時に、わがクラブにとっての大イベントである村文化祭での展示発表。その内容を検討しました。
 前回(初回)は同一素材の寄せ植えが主でしたが、今回は数種類の素材から各人の好みで選び、植えこむ方式にしました。
 王滝の学校にお世話になったことのある私にとって、観光に生きる王滝村がスキー場の閉鎖や御嶽信仰の信者の来村の減少で今後どうなっていくのか心配でもありません。
 今年は大きな事故や災害のない、平穏な日々が続いてほしいと思います。
 今年末の衆議院解散総選挙には驚かされましたが、自民党の勝利は円安や株高に支えられたアベノミクスがいろいろな問題を抱えながらも、なんとか経済回復してほしいという国民の期待が込められているのだと思います。
 安倍さんには長期政権にあぐらをかかないで国民のために頑張してほしいと思います。



喬木の新しい伝統に!
**第1回 たかぎ杯を
 開催!**

は何なのかを考え、みんなで新しい村作りを協力していきたいと思えます。
 公民館は本館の部員の皆様や、十六分館の分館長や理事さん、役員の皆様のお骨折りで充実した活動を展開していただいております。
 より多くの皆様に楽しく参加していただけますよう、活動の見直しをしていきたいと思います。
 高齢化が進む中、健康で元気に生活できることが何よりであります。平成二十七年が皆様にとって素晴らしい一年となりますことを心より祈念しまして公民館からの年頭の挨拶といたします。



十一月三十日(日)、「たかぎスポーツクラブ」が初めて主催する競技大会「第一回たかぎ杯テニスミックスダブルス団体戦」を開催しました。全七チームが初代たかぎ杯チャンピオンの座をかけて戦いました。
 予選リーグ上位四チームが進んだ決勝トーナメント優勝は、岐阜県からエントリーした「瑞浪TC」。メンバー四人の年齢が合わせて二百歳を超えるベテランチームが、たかぎ杯初代チャンピオンに輝きました。予選下位三チームで行われたエリジョイトーナメントでは、「上中下チーム」が優勝。また、大会中に行われた「無料体験レッスン」では、野球少年など二十二名が参加し、初めてのテニスを楽しみました。さらに優勝チーム以外にも抽選で三チームに喬木村の「たかぎふと」をプレゼントするなど、参加者全員が楽しめる大会となりました。
 「たかぎスポーツクラブ」では、今後も楽しく村内の人々がスポーツで交流できるイベントを企画していきます。ぜひお気軽にご参加ください。

あこの時
 寒くなつて犬の散歩で天竜端を歩くと、水辺を泳ぐ鴨の数がだんだん増えていくのが分かります。
 毎年同じ鴨が飛来しているのか知るよしもありませんが、毎日見ていると愛着がわいてきます。ついで泳いでいたり、小鴨が群れて遊んでいる姿はほほえましいもので寒い中でも温かい気持ちになります。
 春が近くなりそんな鴨たちが少しずついなくなるとき、小鴨たちのことが心配になります。何となく寂しさを感じます。
 何で鳥たちは苦労して渡りを繰り返すのか。そんな単純な疑問にとらわれるとき、私の好きな坂村真民さんの詩に「鳥は飛ばねばならぬ」という詩があるのを思い出しました。
 「鳥は飛ばねばならぬ 人は生きねばならぬ」という単純な命題です。
 真民さんは、明治四十二年に熊本県に生まれ、八歳で父を亡くし、五人兄弟の長男として母親を助け苦労しながら育ちます。
 神宮皇學館を卒業し、二十五歳で朝鮮の女学校の教員となり、二十六歳で結婚、終戦により帰国し、愛媛県の高専女学校に着任し、その後はずっと愛媛県の田舎に暮らし多くの詩を書き続けました。
 平成十八年の暮れに九十七歳で亡くなったのですが、自分でつけたという戒名は「詩院蒲公英林真民霊位」であつたといひます。「蒲公英」とはたんぽぽのことであり、朴とはほうの木のことで、自分の好きだったタンポポや朴を入れてあるのが真民さんらしくてうれしくなります。
 鳥は飛ばねばならぬ 坂村 真民
 鳥は飛ばねばならぬ 人は生きねばならぬ 怒涛の海を飛び行く鳥のよう
 混沌の世を生きねばならぬ 鳥は本能的に 暗黒を突破すれば 光明の島に着くことを知っている
 そのように人も 一寸先は闇ではなく 光であること 知らねばならぬ
 新しい年を迎えた日の朝 私に与えられた命題

未年生まれ 大いに語る



平成15年生 12歳 塚平心寧 (富田)

新年明けましておめでとうございます。私は今年で十二歳になります。私の夢は看護師になることです。なぜそう思ったかという、重い病気の人が元気になる手助けがしたいからです。病気の人が、「いつもありがとう」と言ってもらえる様な看護師になりたいです。



平成3年生 24歳 (里原) 筒井絵理奈

新年明けましておめでとうございます。私は、今年で二十四歳になります。時が流れるのは早く、十代だった頃を懐かしく思います。

それは漢字検定にむけて、漢字を覚えていきます。私は、漢字は苦手でした。なかなか漢字が書けないので、何度も書いて覚え直しました。すると、だんだん漢字テストの点数が上がってきました。二月の検定の日までしっかりと勉強して合格できる様に頑張りたいです。

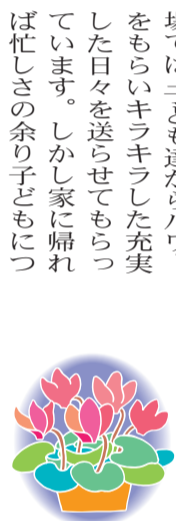


昭和54年生 36歳 (梶原) 林麻美

新年明けましておめでとうございます。思い返せばこの喬木村には結婚と共に引越してきて、早いもので結婚生活も十年、喬木村住民になって十年になります。

最初はアパート暮らしでしたが、子どもも生まれ、家を建ててからというもの、主に子育てを通じて地域の

皆様とのつながりが沢山できたこと、本当に有難く、感謝の気持ちで一杯です。一昨年より仕事を始め、ワーキングマザーとなりました。子育てに専念している頃とは比べものにならない忙しさで、朝から晩まで時間に追われ、仕事、子育て、家事の両立の大変さを感じています。



一方で職場である保育現場では、子ども達からパワーをもらいキラキラした充実した日々を送らせてもらっています。しかし家に帰れば忙しさの余り子どもにつ

いイライラして、鬼母さん、化してしまうことも…。今年には張り過ぎず、心にゆとりを持って子育ても仕事も楽しんでいきたいです。日頃支えてくれている周りの方々への感謝の気持ちを忘れずに、家族全員健康第一で笑って一年を過ごせたら幸せです。

本年もよろしくお願致します。

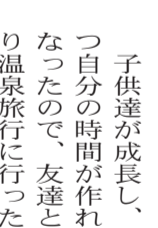


昭和42年生 48歳 (鍛冶垣外) 遠山まゆみ

新年明けましておめでとうございます。私達一家が喬木に住み始めて十五年が経ちました。引越して来た時は不安もありましたが、三人息子の育児、家事で毎日忙しくてあつという間の十五年間でした。平成十七年に

娘も生まれ、一層と賑やかになりました。昨年、二男が結婚し明るく元気なお嫁さんと同居して楽しく過ごす事が出来てありがたく思います。

今年もよろしくお願致します。



昭和30年生 60歳 (杉立) 山越明

子供達が成長し、少しずつ自分の時間が作れる様になったので、友達とのんびり温泉旅行に行ったりして楽しみたいと思います。その為にも健康に留意して笑顔で過ごして、家族の無事、健康を祈りたいと思います。

新年明けましておめでとうございます。早いもので、今年で六十の還暦を迎えることになりました。

今の私は、合併処理浄化槽の浄化槽管理士として、各家庭の代行者として水質検査等を喬木村と飯田市で行っ

ております。奥の深い仕事ですが、きれいな水にするために、よりいっそう努力し水質検査汚泥処理等に今以上の心配りで頑張りたいと思います。

たかぎ短歌会

師走歌会詠草

幼日にお宮の庭で椽の実をひろいし思い出ふる里の頭つ
剪定すわが名遠くより呼びくるる幼子の声に疲れ癒さる
ふる里の匂い残れる山里に親しき友と紅葉を愛でる
七五三迎える孫に付き添いてにぎしくもジジババ四人
幸せは金では買えぬと言いつつも今年も賭ける年末ジャンボ

大村 初見
関島 春子
知久 美子
桐原 邦夫
羽生 俊彦

「おばあちゃんの干し芋待ってる」と孫の声膝を撫ぜつつ一日芋干す小椋
霜の朝黄ばみし花梨二つ三つ落ち葉の上に鎮座します
霜月の空気きりりと引き締め朝の来るたび冬に近づく
「大人には来ないんだよ」と云いつつ孫はサンタさんに手紙書くとう木下
七五三お喰ひ初めにと招かれて栗おこわ炊く心を込めて
参観日いいちゃんも来てと孫の声元氣もらえば夫は口笛
自慢なる馬鹿力をも出ずなりて柿の重きが総身にしてみる
きのふまで人通りの無き商店街「世界遺産」とふ言葉の威力
荒削りなれど田空菩薩像世の政治屋にあらまほしき貌

岩間 幸子
元島 康子
内山 和子
田中 妙子
木村 睦枝
市瀬 准子
福澤 亀人

編集後記

明けましておめでとございます。本年も公民館報をどうぞよろしくお願致します。

お正月に実家に行きました。珍しく両親が私にお年玉をくれました。その袋には、「いつもいつも大変お世話様になって申し訳なく思っています。これからも(いつまで続くかわからないが)

よろしくね」としたためられていました。足の痛い両親が痛み止めを打ちながらの桃取り、柿取りを思うと込み上げてくるものがありました。美味しい桃の木、柿の木

を切ってしまうことのないよう、できる限りの応援はしたいと思いつつ、お年玉袋を引き出しにしました。

第32回 ふるさとづくりフォーラム

今年度も、毎年恒例のふるさとづくりフォーラムを開催します。今回のフォーラムでは、下記の企画を行います。

申込み不要・参加無料でどなたでもご参加いただけますので、お好きなイベントにぜひご参加ください。

- 日時 平成27年2月15日(日) 午後1時～
- 会場 喬木村福祉センター2階 多目的ホール / 喬木第一小学校体育館
- 内容 午後1時～ 開会行事 (福祉センター多目的ホール)
★1時10分以降…各イベントスタート!
気になるイベントの会場までお越しください。

イベント① みんなで 喬木村の将来を考えよう
午後1時10分スタート (福祉センター多目的ホール)
◆午後1時10分～ 講演会「地域の防災力をアップしよう」
もしもの時、どうしたらいいのか。もしもの時にそなえて何をしたらいいのか。村の防災はどうなっているのか…
お話を聞いて、まずは防災の視点から村を見つめてみましょう。
◆午後2時15分～ ワークショップ ～今後10年の「むらづくり」に向けて～
日頃感じている、村の「いいところ」「変えたいところ」を自由に出し合っ、村の将来について考えます。
あなたの意見が 村を変える…かも!?

イベント② Let's ダンス! ヘリー&ゴーダンス!
午後1時30分スタート (喬木第一小学校体育館)
皆で「ヘリー&ゴーダンス」を覚え、楽しく踊る企画です。
踊っている様子を撮影して、後日動画をYouTube等で流します。皆で踊って「元気な喬木村」をアピールしましょう。
◆午後1時30分～ はじめの会
◆1時45分～ ダンス練習
◆3時00分～ 撮影
※直接会場にお集まりいただいてもOKです

午後4時～ 閉会行事 (福祉センター多目的ホール)
午後4時30分 閉会
◎お問い合わせ先 公民館事務局 Tel:(0265)33-2002

平成26年度公民館楽遊塾第6講座 アロマオイルマッサージ 参加者募集!

- 期 日 2月1日(日) 午後1時～
- 場 所 喬木村福祉センター2階 多目的ホール
- 内 容 13:00 受付
13:15～①アロマとは…(講義) ②アロマオイルマッサージをやってみよう(実技)
※ハンドマッサージを体験していただきます
16:00 解散
○持ち物 ・参加費500円(材料代として) ・タオル2枚 ・バスタオル1枚
○募集人員 20名 ★申込み多数の場合は抽選となります
○申込み 1月23日(金)締切 (準備の都合上、期間が大変短くなっており誠に申し訳ございません)
電話受付 公民館事務局(33-2002)までお電話でのお申し込みをお願いします。
※詳しくは、チラシをご確認ください。

